

呉竹心技

呉竹鍼灸柔整専門学校情報誌 [Kuretake Shingi] 2012 / vol.2

目次

| | |
|---------------------------|----|
| 「呉竹心技」校長あいさつ | 1 |
| 呉竹鍼灸柔整専門学校 学校長 小林 賢次 | |
| 海外で活躍する卒業生 | 2 |
| 卒業生の今！ | 4 |
| NEWS | 8 |
| ●柔道大会3位入賞！ | |
| ●「呉竹学園85周年記念講演」を開催しました | |
| ●「呉竹メルマガ」のご案内 | |
| 卒業臨床講習会 | 10 |
| ●「症状別キネシオテーピング法」を開催しました | |
| ●「効かせる灸治療…応用編」を開催しました | |
| 在校生の声 | 11 |
| 平成23年度「くれたげ会後期講演会」を開催しました | 13 |
| お知らせ | 14 |
| ●校友会改編のお知らせ | |
| ●求人情報管理システムのご案内 | |
| ●横浜F・マリノスのスポンサーになりました | |
| インフォメーション | 15 |
| ●「呉竹メルマガ」のご案内 | |
| ●学校説明会日程 | |
| ●第20回国家試験合格速報 | |
| ●入試日程(2013年度募集) | |
| ●編集後記 | |

呉竹心技 [Kuretake Shingi] 2012 / vol.2
発行所……………2012 / 4
発行所……………呉竹鍼灸柔整専門学校
編集……………呉竹心技編集部

© 呉竹鍼灸柔整専門学校
本誌掲載の写真・図版・記事の無断複写・転写を禁じます。

【吳竹心技】

超高齢社会における医療と

学校教育においての対応

卒業生の皆様に向けて、日頃、学校が取り組んでいることや教育現場の様子、学校行事の報告など様々なメッセージをお届けし、校友会会員相互のコミュニケーションの場となることを願い作成しました「吳竹心技」も2回目の発行を迎えることになりました。

今回は、最近大きく変わってきた医療と学校の取り組みについてお話しをしたいと思います。

日本の高齢者人口をみますと、平成22年10月における65歳以上の総人口に占める割合は、23.01%に達しております。日本は世界的に見ても65歳以上の総人口に占める割合が一番多い、超高齢社会を迎えました。最近の日本の医療に関しては、疾病構造の変化、インフォームド・コンセント、高齢者医療と、医療の中心が大きく変わってまいりました。疾病に関しても、生活習慣病心の病、ストレス病などの治療が難しい疾患が増えてきております。生活習慣病などの疾病に対しては、治療よりも予防が

大切であるということから未病医学、すなわち予防医学の重要性がいわれ、一次予防に重点を置いた医療に変わってきています。

また、高齢者の病気の特徴をみてみますと、一人で多疾患、多愁訴を有し、慢性疾患で、完治が難しいという特徴を持っております。そのため高齢者医療の視点からは、病気を全人的に考え、QOLの向上またはその維持を目指した包括医療に重点が置かれるようになってきています。高齢者の包括医療としては、全人的アプローチをし、個人個人にあった治療(随証治療)をする、体に優しい東洋医学が大きく期待されるようになってきました。

学校教育においても、こうした高齢社会の医療に対応できる資格者を輩出していかねばならないと考えています。鍼灸マッサージ、柔道整復の施術以外にも幅広い知識、技術を持った、現代社会に対応できる医療人を養成するために、本校では、授業時間外に介護等の理論と実際、ノーマライゼーション社会を目指すサービス介助学などの授業を提供し、現代社会の要求する医療人の養成にも心掛けていくところでございます。

そして、卒業生の皆様には、卒業研修として、実際の臨床に役立つ知識、技術を短期の研修で提供できるようにしています。

これからも会員の皆様からご意見を戴きながら、なお一層の卒業臨床研修の充実を図って参りますのでこれからもよろしく願います。

のスキー場を求めて、世界中からたくさんの方々が訪れる、カナディアンロッキーの中心地です。この街には温泉が湧いています。この温泉を利用して、街中のホテル内には大小多様なスパがあり、マッサージを始め、さまざまなボデイワーク、セラピーを受けることができます。



こんにちは、2008年に本科を卒業した湯田真帆です。カナダのアルバータ州にある、バンフという人口8千人程の小さな街に暮らしています。バンフは、街を取り囲むように聳える雄大な山々、氷河の溶け水によってできた宝石のような湖、広く大きな谷間を蛇行

する真つ青な川がつくる美しい国立公園でもあります。夏にはこの大自然の大自然の中で様々なアウトドアアクティビティを、冬には北米有数



カナダでは、州によって鍼灸マッサージの法律が異なります(鍼灸については、法規制のない州もあります)。各州には日本における厚生労働省のような機関があり、それぞれの州で教育、資格、登録を管理しています。また、マッサージ師、鍼師は登録できる組織、協会が国内に数種類あり、住んでいる州によって異なる資格登録基準を設けているようです。州によつて基準は異なりますが、マッサージや鍼治療に健康保険を適用し、勤めている会社の保険、個人で加入しているプライベートな保険、政府が提供している保険などのペネフィットを活用し、無料、または格安な料金で治療を受けることができます。

マッサージ師、鍼師などの法規制が整っていない州もありますし、法規制のある州においても、基本的には、資格登録をなくしても、施術を行うことは可能です。ただし、登録していない施術者からの治療には保険は適用されませんので、受ける人は自費で受ける必要があります。このため、病院や鍼灸院、マッサージサロン、スパなどで働く施術者には資格登録が求められることがほとんどです。登録については、各組織、協会によってその認定基準が異なります。

マッサージ師としての登録、保険適用のサポートをカナダ全土で行っている最大の組織はNatural Health Practitioners of Canada (NHPC)です。私は昨年、呉竹の先生方のサポートを頂きながら、NHPCにマッサージ師、指圧師、あん摩師としての登録をしました。アルバータ州はマッサージ師になるための最低教育時間を2500時間と定めています。一方で、保険を取り扱うマッサージ師として理想的には2200時間の教育プログラムを受けることを推奨しています。呉竹本科の履修時間は2550時間。教科の内容も、NHPCの基準に叶うもの(それを上回る内容)と認定されました。この登録には、多くの書類作成とプレゼンテーション、そして長い長い審査期間がかかりました。登録が実現すれば、就職のチャンスが圧倒的に大きくなるだけでなく、保険での

最後になりますが、呉竹医療専門学校(大宮校)の第一期卒業生が輩出されることを受けて、平成24年度からは、新たな校友会組織をスタートすることになりました。長い間ひらがな表記で親しまれていた「くれたけ会」は、新名称「呉竹鍼灸柔整専門学校 呉竹会」と名称変更を行い、3校それぞれの校友会組織が一体となった「呉竹学園 呉竹会」という大きな組織が誕生します。会員の皆様方におかれましては、母校のみならず、3校を含めた呉竹学園に今後とも温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。会員皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。



呉竹学園 呉竹鍼灸柔整専門学校
学校長 小林賢次

治療が可能になるため、集客力も増加します。いざという時には損害保険も使えます。そして一度認定されれば、その後は毎年一定時間の技術向上のための勉強を続け、その内容を報告し続けることによって、資格登録を延長していくことができます。マッサージ師が支払う保険料は、日本の損害保険に比べて割高で、年間500ドル(約4万5千円)近くかかります。

さて、私はRimrockというリゾートホテル内にあるスパでマッサージ師として働いています。このスパには、マッサージルームの他に温泉プールやスチームサウナ、スポーツジムが併設され、施設から見ることのできるカナディアンロッキーの迫力ある眺めは、観光客はもちろん、地元の人々にも人気があります。

スパで働くセラピストたちは、地元バンフ出身者はむしろ少数です。この美しい街に住むために、カナダ中、そして世界中から集った国際色豊かなメンバーは、各国のボディワークを学びながら癒し合うことのできる素晴らしい仲間たちです。日本の鍼灸、あん摩、指圧の技術は、同僚たちの間でも特に関心が高く、頻りにワークシヨップの依頼を頂いています。また、同僚のエステティシャンたちと共同で、美容鍼灸など、新たなメニューの開発、提案も行っていきます。

小さな街であるバンフには、日本における、いわゆる鍼灸院がありません。日本の鍼灸院で行われているような治療を受けるためには、1500km離れたカルガリーという大きな街へ行かなければなりません。

Physioと呼ばれる、理学療法士たちの中には、時に鍼を使う人もいますが、その使い方

はとても限られたものです。友人の理学療法士によると、彼が学校で受けた鍼の授業は、2週間に満たないそうです。そのため、研究熱心で鍼に関心のある理学療法士は、鍼を使用することもあります。とても少数派です。カナダでは、理学療法士の他に、Acupuncturistと呼ばれる鍼師、または

Traditional Chinese medicine Doctorと呼ばれる中醫師も鍼を使った治療ができます。日本でも同じですが、治療家によってお灸を使う人、全く使わない人がいます。カナダでは、お灸を使う治療家は少ないようで、一般的に、鍼に比べて、お灸の知識がある人は減多にいません。

それでも、私が想像していた以上に、鍼治療について知っている、受けたことのある、または受けたいと思っている人々にはたくさん出会いました。スパのお客さんからも、友人たちからも、毎日のように鍼治療について質問されます。資格登録が終わっていないので、スパでの施術はできませんが、自宅で、または友人宅にて、保険を使わずに治療を受けたいという方には、紹介の意味も込めて施術をします。スパの上司や同僚も、私の鍼灸、指圧、あん摩を受けに通ってくれています。さらに、

Q 入学される前はどのような職業をされていたりしましたか？

A 銀行員です。横浜銀行の大雄山支店で支店長をしていました。

Q 資格を取得しようと思ったきっかけや経緯を教えてください。

A もともと腰が悪く鍼の治療に行つたところ、鍼灸のポテンシャルはすごく高いけれど世の中の評価は非常に低いと感じたことがきっかけです。やる人がきちんとやればもっと人のために活かせるのではないかと思いました。

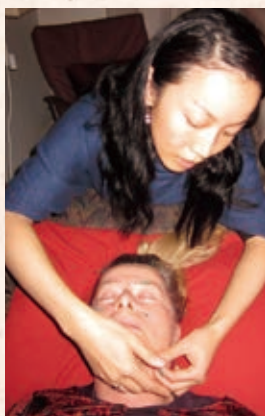
Q 学生時代の思い出や、印象に残っている授業、エピソードなどをお願いします。

A 入学式の時、受付の方に「石田さん」と声をかけられたのですが、これから入学する生徒の顔と名前が、すでに致しているという事です。驚きを感じました。

Q 現在、開業(勤務)されている治療院は、どのような治療院ですか？ また、開業(勤務)されるまでの経緯を教えてください。

A 卒業後、半年間鍼灸治療院と骨盤調整

シフは、日本から、アジアの様々な国からの移民も多く暮らしている街です。もちろんカナダ、欧米の方々も含めて、鍼灸、指圧、あん摩のニーズは私が予想していた以上に高く、同僚や友人たちからの紹介で、自宅での鍼灸治療も少しずつ需要が伸びています。



呉竹を卒業してようやく4年が経ちます

まだまだ未熟な状態で日本を離れるのほども勇気がいりました。たくさんの素晴らしい先生に学ぶ機会を持つる日本が恋しくなる一方で、自分自身しかないからこそ、目の前にある二つの症状、一人一人の方々の状況に、必死に向き合い、頑張つて勉強しながら乗り越えて行こうというガッツが湧きます。苦しくもあり、有難くも、嬉しくもあります。専門用語を含め、英語でのコミュニケーションは大変ですが、鍼灸、あん摩、指圧、マッサージを通して、様々な国の人々と出会い、心身ともに深

整体院で修業し、その後半年の開業準備を経て開業に至りました。現在の治療院は、

入りやすい治療環境を意識しています。たとえば、他の患者さんとの距離や、色、匂い、音、などにも気を配り、「頭寒足熱」をテーマにどれだけストレスを取り除くかを考えています。突然脱がせて鍼を打つというより、まずは足を温めて心身ともにリラックスしてから治療をはじめようとしています。それから、真剣に治療に取り組むためにもあえて保険はつかっていません。こちらも患者さんとも、相互が治療の価値と価格をきちんと認識し、しっかりとした治療をすべきと思つています。

Q 開業して良かったことや、やり甲斐を感じることを教えてください。また、その反対に苦労されたことは何ですか？

A 良い点としては、「ありがとう」という言葉に心がこもるようになりました。自分が一生懸命やる事が患者さんを楽にすることに直結し、感謝していただけます。そんな時言い知れぬ幸福感を享受できます。苦労点としては、人を育てることの難しさを実感することです。

く対話できる経験は素晴らしいものです。治療を受けてくださる皆さんに支えてもらう毎日です。

学校や鍼灸院での経験だけでなく、生まれ育つた日本での一般的な身体感、健康感、自然観、私たちの生活にとけ込んでいた東洋医学的世界観は、遠い異国の国の人々に、とても深く、畏敬の念すら伴う歓迎を受けるものでした。これまで当たり前だったその世界観をきちんと見直し、勉強して、この寒い寒い国でいかに活かしているのか、様々な価値観をすでに持っている人たちと、いかにシテしているのか。この小さな街で、これからやりたいこと、できるであろうことを、ワクワクしながら模索しています。

在校生のみならず、みなさんの持っている夢、目指されている治療に近づくには、具体的なビジョンを持ち、それに向かってワクワクすることが、とても大切だと私は思います。どうぞ、貴重な学生生活を謳歌して下さいね！

Q 今後の目標を教えてください。

A 治療の技術を磨いていくのは当然ですが、当院に訪れる人がホッとできる雰囲気を提供することですね。自分自身の人間性を磨いて、地域の方々に親しまれる治療院にしたいと思つています。

Q これから医療の道を志す方に対してメッセージやアドバイスがありましたらお願いします。

A 人を苦しみから解放して楽にすることで人から慕われ感謝される、こんな素敵なお道はないと思つています。また、私の座右の銘ですが、論語に「知之者不如好之者、好之者不如樂之者。」という一節があります。簡単に言うと、ただ知っているよりも、それを好きでいる人の方が色々とうまく行くし、あるいはそれを楽しめる人の方が価値が高いのだと。要は楽しんでの方がいいですね。苦しいことや壁もありますが、それらをどう乗り越えるかというプロセスを楽しんだ方が、人生が豊かになるのだと思つています。夢の計画を立てて、それを実現していく。楽しさを企画する不断の努力を忘れないことが大切だと思つています。

呉竹心技 卒業生の今



本科・柔整科(平成20年度卒)

石田 伸先生

鍼灸愈楽治療院
(南足柄市)





鍼灸科(平成20年度卒)
野沢 菜々子先生
ナナ鍼灸院
(訪問治療)



得てコンサートなどに出張し、コンディショニングのようなことをしたいと思っていました。

Q 学生時代の思い出や、印象に残っている授業、エピソードなどを教えてください。

A 口内炎が一度に20個くらいできた時、鍼を打ってもらったことがあります。そして2日後くらいに全部なくなっていて、そのあとはもう出ません。それが一番不思議で面白かったです。サージョアシスタントの授業で盲目体験をしたことも印象に残っています。

国家試験の前々日には高熱が出てしまい、勉強せずに本番を迎えました。試験の昼休みに落ちたと思うとワンワン泣きましたが、合格しました。

Q 現在、開業(勤務)されている治療院は、どのような治療院ですか？ また、開業(勤務)されるまでの経緯を教えてください。

A 卒業後に鍼汪会会長の二階堂宣教先生に「本治法」を学び、この治療法で皆さんの健康の力になればよいなと思い、二階堂先生の助手をしながら開業しました。現在は1人で出張専門の治療院をやっている、基本的には女性専門です。保険は使わず、

にも納得したとき偶然にも足首と肩を壊して、接骨院というのを知りました。すごい仕事だと思い、「これで飯食おう」と思いました。

Q 学生時代の思い出や、印象に残っている授業、エピソードなどを教えてください。

A 1年生の1学期のテストで点数がとれず、坊主になりました。(笑) その後は勉強もしつかりしつ、休み時間には仲間と野球をするなど、メリハリのある学生生活を送りました。その時の友人とは今でも本当にいい付き合いをさせてもらっています。それから、斉藤先生と添田先生の授業は今でも受けたいと思います。

Q 呉竹を選んだ理由を聞かせてください。

A まず、呉竹は当時から有名であったという点に加え、肩を壊した時に行った接骨院の先生が呉竹の出身で、「卒業した後が違えば」と勧められました。呉竹には歴史と実績があり、新しくできた学校とは卒業生の数が違うので、多くの先輩方が可愛がってくれます。新興の学校だったら、卒業後2、3年で開業しようと言っても誰も助けてくれないでしょう。

平均して1日3人くらいを診ています。40、50代の患者さんが多く、婦人科系の悩みや精神的な悩みを抱えている方が多くいらっしゃいます。患者さんとは仲良く楽しくやっています。

り甲斐を感じます。勉強は難しいけど、新しい発見があると楽しいのであまり苦労とは思っていません。自転車往診なので雨が降ると困ります。

Q 今後の目標を教えてください。

A 的確な診断のできる鍼灸師になり、治療をもつこと。小さくてもいいからお花を並べたいなと思います。それから、まだまだ鍼II怖いと思っている人が沢山いるので、もっと鍼を身近に感じられるよう、鍼の良さを広めたいと思います。



Q これから医療の道を志す方に対してメッセージやアドバイスがありましたらお願いします。

A 卒業後の方が勉強しないといけないことが沢山あるので、難しく大変だとは思いますが、自分のカラダに合う治療だったら、信念をもって続けられると思います。一生勉強していかないといけないから、たまにやだなーとか思うけど。(笑)

Q 開業して良かったことや、やり甲斐を感じることを教えてください。また、その反対に苦労されたことは何ですか？

A 患者さんに、良くなった！ 治った！ ありがとう！と言われると、嬉しくてとてもやりがいです。

Q 現在、開業(勤務)されている治療院は、どのような治療院ですか？ また、開業(勤務)されるまでの経緯を教えてください。

A 当院はスポーツ外傷に強みがあります。来患者数は1日50人前後で、中高生が全体の3割くらいになっています。また、周りの整形外科とも提携しています。

開業までの経緯としては接骨院助手、整形外科勤務などを10年経たのですが、その時苦労したことは柔道整復師として働ける職場を探すことでした。幸いにも水野整形外科を紹介していただき、そこで100件近く整備を経験したことで自信が付き開業に至りました。



Q これから医療の道を志す方に対してメッセージやアドバイスがありましたらお願いします。

A 1人では決断して成すことはできないので、多くの良き友を得ること。それから、柔道整復師は医療人なので世のため人のためにやるという事です。簡単に金が儲かるかと思っちゃダメですね。満足せずに、ひたすら努力することです。

Q 入学される前はどのような職業をされていたか？

A 18歳から10年間とび職人をしていました。

Q 資格を取得しようと思ったきっかけや経緯を教えてください。

A とび職人をしていた当時の先輩を見て、「このまま続けていたら体がもたないな」と思っていました。10年が経ち、ある程度仕事



柔整科(平成19年度卒)
戸畑 智秋先生
ちあき接骨院
(大和市)





柔整科(平成19年度卒)
本科(平成22年度卒)
高島 樹理先生

Yakobu Body Design Studio
(港区南青山)



Q. 入学される前はどのような職業をされていたか?

A. 高校を卒業してすぐに呉竹に入学しました。周りがみな大学に進学する中、専門学校へ進むのは結構勇気のいる決断でしたね。

Q. 資格を取得しようと思ったきっかけや経緯を教えてください。

A. 小さい頃からサッカーをやっていた、怪我が絶えず、しょうちゅう接骨院や鍼の先生にお

世話になっていました。病院じゃないけれど怪我をすると思う接骨院って何だろう?と興味を持ったのが始まりでした。

Q. 学生時代の思い出や、印象に残っている授業、エピソードなどをお願いします。

A. 最初に入学した柔道整復師科は、わいわいと体育会系のノリでにぎやかでした。接骨院で働きながら通っていたので、仕事と学業の両立が大変で、根岸先生たちによく助けてもらいましたね。次に進んだ鍼灸マッサージ科は、年齢、職歴、考え方がさまざまな人たちに接することができて、よい人生勉強になりました。現在も養成科でまだまだ奮闘中です!

Q. 現在、開業(勤務)されている治療院は、どのような治療院ですか? また、開業(勤務)されるまでの経緯を教えてください。

A. ストレッチ・マッサージの応用で気の流れをよくする姿勢保健身体均整術をメインとする治療院です。もちろん鍼灸部門もあります。広々とした空間でゆったりと治療を受けてもらおうとやれな空間で、患者さんには歌手やダンサー、プロのスポーツ選手もたくさんいました。

んいます。勤務することになったきっかけは、メディカルトレーナーとして「一緒に活動していた院長に声をかけていただいたことです。」「暇?やってみない?」って(笑)



Q. 開業して良かったことや、やり甲斐を感じることを教えてください。また、その反対に苦労されたことは何ですか?

A. 私、辞めようと思ったことがないんです。呉竹に来たころは落ち込むこともありましたが、いろいろな経験していくうちにプラス思考で考えられるようになりました!

Q. 今後の目標を教えてください。

A. 自己満足に終わらず勉強し続けること。教師や施術者として自分の知識を伝えて、いつかは人を残している存在になれたらと思います。

Q. これから医療の道を志す方に対してメッセージやアドバイスがありましたらお願いします。

A. やりがいのある仕事ですが、しっかりと会社組織というものはありませんし、厳しい世界でもあります。でも、本当に好きになれば一生勉強して、ボケずに研鑽している仕事です。お金をいただいて「ありがとう」って言われる職業はそうありません。患者さんの「ありがとう」をしつかり噛みしめて日々頑張ってください。

呉竹学園の先生方はみな優秀です。真面目にやっていたら必ず資格は取れます。



第44回(社)全国柔道整復学校協会

柔道大会 二位入賞

2011年8月11日(木)、全国柔道整復学校協会柔道大会が東京武道館にて開催されました。今年からは女子も参加し、日々稽古を重ね、本大会に備えてきました。

男子は、初戦で朝日医療専門学校(広島県)と対戦し惜しくも敗れてしまいましたが続く2回戦では前橋東洋医学専門学校



準決勝!!
北海道柔道
整復専門学校
(北海道)
との対戦では、選手全員全力で奮闘しました

が、敗れてしまい決勝進出とはなりませんでしたが、しかしながら、初出場で3位、銅メダルという素晴らしい成績を収めることができました。この結果は、選手の頑張りはもちろん8月の猛暑の中、駆けつけてくれた大勢のクラスメイト皆さんの応援のおかげです。あり



がとうございました。

横浜校では、平成21年から柔道大会への参加を始めました。柔道の練習を通して、学年を超えた学生同士の交流や、対戦した



学校の選手との情報交換など、充実した時間を過ごせたことと思います。来年も良い結果が残せるようがんばりますので、是非、諸先輩方、そして在校生の皆さんも観戦に来ていただけたら幸いです。

これからも応援よろしくお願いします!!!

『呉竹学園85周年記念講演』を開催しました

平成23年9月18日(日)、呉竹鍼灸柔整専門学校8階講堂において、『呉竹学園創立85周年』を記念して特別講演を行いました。講師には東洋医学に造詣の深い小菅孝



近隣の方を含め約100名が参加

明氏(医療法人KMG小菅医院・横浜朱雀漢方医学センター理事長・院長)をお招きし、『漢方と健康長寿 ―美しく老いるためのコツ―』というテーマで講演していただきました。

健康長寿とはどういうことか、美しく老いるためには何が必要か、伝統医療の考え方に触れながら、特に漢方薬の効果について様々な実験データによる裏付けを示し、時には落語のような語り口調で笑いをとり、一般の方にも分かりやすく解説していただきました。若々しい肌や肉体を維持するには、動脈硬化を予防し、血管をしなやかに保つことが非常に大切です。また、皆さんは、漢方(漢方薬)にどのようなイメージをお持ちでしょうか? 体質改善ができる、身体への負担が少ない、薬代が高い、効果が分からない等、様々な評価があるかと思いますが、一般的にそれほど馴染みのある世界ではありません。現代医学(西洋医学)では、診断結果から病名を決定

し薬を処方します。その病気に対して直接的な治療を行う訳ですが、逆に言えば病名が決まらなければ治療ができません。一方、漢方医学(東洋医学)では、その人の証(体質・状態・症状等)を見て治療を行います。病名がはっきり分からなくても、患者が症状



観衆を魅了する小菅先生の清舌

を訴えれば、それらに応じた治療ができるのです。また、同じ病名でも患者さんによって飲む薬が違う「同病異治」、同じ薬でも様々な病気に効果を発揮する「異病同治」など、まさに患者さん一人一人の個性差にあわせた

オーダーメイドの治療を施すことができるのが、私たちが目指す東洋医学の特徴です。
3連休の合間に開催されたにも関わらず、卒業生、在校生に加えて、近隣の町内会の方々など、一般来場者も含めたくさんの方に越えさせていただきました。折しも講演会の翌日9月19日(月)は、「老人を敬い長寿を祝う」敬老の日でもありました。この講演をきっかけに、より多くの方に漢方治療、鍼灸治療などの伝統医療にも親しみを持っていただき、いつまでも健康に長生きしていただきたいと思っております。

ご興味のある方は、左記のHPをご参照ください。
小菅医院・横浜朱雀漢方医学センター
<http://www.kosuge-med.com/>

卒後臨床講習会

「症状別キネシオテーピング法」を開催しました

平成23年9月25日、10月2日の2日間にわたり、第10回卒後臨床講習会を開催しました。今回は「症状別キネシオテーピング法」の応過去に開催した「キネシオテーピング法」の応用編です。



1日目は、手・手首・肘・肩関節・頸・背中等上上半身を中心とした、突き指・捻挫・むら打ち症・寝違い・腱鞘炎・弾発指・テニス肘・内側上顆炎・胸郭出口症候群・筋膜炎・椎間板症等に対するテーピング技術を学びました。2日目は、腰椎症・ヘルニア・坐骨神経痛・静脈瘤・筋挫傷・アキレス腱炎・シンスプリント・コンパクトメント症候群・変形性膝関節症・足底筋膜炎・生理痛など、腰・腹・大腿部・下腿・足首など下半身を中心とした症状に対するアプローチを見ていただきました。
右下の写真は、前脛骨筋から長指伸筋にかけて痛みを訴える方に対して、内顆から外顆にかけてのテーピング、踵から足関節前方にかけてのテーピング、そして踵から下腿三頭筋を通り、膝窩に向かってテーピングを行っている様子

です。痛みを伴う箇所と拮抗する筋に注意を払いながらテーピングを行います。また、鑑別診断についても、単に大腿四頭筋だけを診るのではなく、大腿直筋・内側広筋・外側広筋にわけてテストを行います。施術後、この方の痛みとむくみがとれ、効果を目で確認することができました。

「効かせる灸治療…応用編」を開催しました

【第1回(1月7日)】

①ワンランク上の「効かせるための選穴・取穴法と施灸テクニック」

- ①古書にみられる特殊な取穴法(繩折法など)
- ②「足底の穴」およびその活用法について
- ③お灸のひびきについての考察
- ④運動灸

②各種灸法の実際

- ①竹の輪灸
- ②棒灸

【第2回(1月14日)】

③臨床応用

- ①呼吸器疾患
- ②消化器疾患
- ③皮膚疾患
- ④婦人科疾患



今回で卒後臨床講習会も12回を数えましました。詳細は郵送によるご案内のほか、本校のホームページでも紹介しています。参加費用も負担の少ない設定にし、すぐに臨床に役立つ講習会を開催していきます。卒業生であればどなたでも参加できますので、多くの方の参加をお待ちしております。



今回の講習では、学校の授業ではおぼろしく網羅されなかったであろうワンステップ上の灸療技(運動灸、お灸のひびき、繩折法、足底の穴など)を紹介しました。これらはすべて、明日の臨床からすぐに使えるものばかりです。



鍼灸マッサージ科1部2年

福西 忠 さん

A1 小学校5年生(9才)の時から、武術の道を志し、今年で35年目になりますが、武術の先には医術ありと言われ、医術を修めなければ、武術を修めたことにならないの思いから、東洋医術の一つ、鍼灸を学んでみたいと思いました。

A2 私は中国武術団体である、東鵬武術研修会の会長としております。当会所属の好選手が昨年度の全日本選手権で準優勝、JOC ジュニアオリンピックカップ南関東予選で3位に入賞し、今年5月の全国大会に出場する予定です。私は自分がこの学校で修練して得た技術と知識を、当武術会の選手のコンディション調整ということに生かし、社会に還元したいと考えています。

1日のタイムスケジュール

| | |
|-------|------------------------|
| 6:30 | 起床 |
| | ランニング |
| 6:45 | ランニング終了、シャワー |
| 7:00 | 朝食、休憩 |
| 8:00 | 朝の学習 |
| 9:00 | 登校 |
| 9:30 | |
| | 授業 |
| 12:40 | |
| 12:50 | 昼食 |
| 15:00 | |
| | 社会福祉法人 横浜共生会 でアルバイト |
| 22:00 | |
| 23:00 | 帰宅、風呂 |
| 24:30 | 就寝 |



柔道整復科Ⅱ部2年

山西 真理子 さん

A1 身体を動かすのが大好きで、物心ついた時からスポーツをしていた為、ケガをする機会が多く、その度に近所の接骨院に通っていたので、馴染み深い存在でした。さらに自分が柔道をするようになり、選手がベストの力を発揮できるように治療を行う姿をみて、将来は自分が柔道整復師なって、サポートして行こう!と思いました。

A2 資格取得後も勉強を続け、いずれ独立開業してスポーツをする子ども達のケアなど、様々なことに挑戦していきなりたいと思っています。

1日のタイムスケジュール

| | |
|-------|----------------|
| 8:00 | 起床 |
| 9:00 | |
| | アルバイト |
| 12:00 | |
| | 昼食・移動 |
| 13:30 | |
| | 授業 |
| 16:40 | |
| 17:00 | |
| | 学校で柔道練習(週2回) |
| 20:00 | スポーツジムの講師(週3回) |
| | 洗濯、夕食、お風呂 |
| 23:00 | |
| | 復習、ノート整理(エライ!) |
| 24:00 | 就寝 |

鍼灸マッサージ科Ⅱ部2年

福島 満 さん

A1 私は、昨年、24年間続けてきた競輪選手を引退しました。その選手生活の後半、半分は腰痛に悩まされていました。そして、さまざまな治療をした中で、最も効果を発揮してくれたのが、鍼灸、マッサージ治療でした。引退を決意し、第2の人生を考えたとき、このような経験を生かして、自分のように痛みを苦しんでいる仲間たちを自分が少しでも和らげる事ができたらと思い、鍼灸師を志しました。

A2 一念発起、気合いを入れて、呉竹鍼灸柔整専門学校に入学したのは良かったのですが、あまりの勉強の大変さに、一ヶ月もたずに意気消沈、教科書をにらみ続けても、若い頃と違って見慣れない単語がなかなか覚えられず、泣きながら家路につくことも…。でも、何とか頑張っているのは、先生方や、何と言ってもクラスメイトの協力のおかげです。入学してから、一年がたちますが、この1年の学校生活の経験で、鍼灸師になるには努力が必要だ、きっとやり甲斐のある仕事だと感じると同時に、将来「患者さんを治療するのだ」という大きな責任を感じています。将来のビジョンは、まだ具体化していませんが、色々な人との出会いを大切にしながら、人が元気になれる助けを、自分がどうできるかを考え、これからもっと勉強していきなりたいと思っています。

鍼灸科Ⅰ部2年

長岐 祐良 さん

A1 自分自身が長年テニス競技に関わってきたことから、スポーツ選手の身体のケアをしたいと考えました。既に柔道整復師の資格を取っていましたが、局所的な治療が選手のプレイに影響する可能性があるため、遠隔的な治療が施せる鍼灸に興味を持ちました。

A2 卒業後は、柔整の知識と鍼灸の知識を生かし、治療院や競技の現場で経験を積むとともに、さらに年齢の幅を広げた治療ができる治療院を開業したいと思っています。

柔道整復科Ⅱ部2年

上杉 康司 さん

A1 ある日突然、勤務先の会社の社長から「来年接骨院を会社で作る事になったから資格を取って来い」と言われました。サラリーマンが決して逆らえない「業務命令」でした。看護師の妻や、骨折経験のある長男は、複雑な心境ながらも「会社員の学生復帰」にエールを送ってくれました。現在の院長や先輩柔整師との出会いのなかで、自分がどのような柔整師を目指すべきか、考える(悩む?)ようになり、めっきり白髪が増えました。

A2 学校にも接骨院でのサポート業務にも慣れてきて、少しずつ自分の卒業後をイメージしています。会社の要求は大きく、責任も重くなるでしょう。店舗展開を考えていますので、いかなる場所に行くか分かりませんが、患者さんから頼りにされる治療院を作りたいです。

柔道整復科Ⅱ部2年

渡部 良之 さん

A1 私は、ある接骨院の院長先生に出会ったことが、この資格をとるきっかけです。治療院での患者さんの笑顔、熟練した先生の「手当」に釘づけになり即弟子入り!先生になりたいとの一心から、同じ国家資格の取得を目標にしました。

呉竹鍼灸柔整専門学校

在校生の声

01 資格を取ろうとしたきっかけ

02 資格取得後の進路と将来の夢

鍼灸科Ⅰ部2年

丸山 潤菜 さん

A1 元々、エステサロンで働いており、お客様の顔色や体質に共通点があると思い、東洋医学の「四診」に興味を湧きました。お腹の不調などが顔に出ている場合に、ツボや経絡へのアプローチで改善できることを知り、鍼の勉強をしたいと思いました。

A2 その人にとって気持ちの良いこと、痛みが取れる、腕が上がる、ぐっすり眠れる、シワが減り表情が明るくなるなど、病氣、美容、未病などに対して、トータルバランスを整えられる施術者になりたいです。そして、緑が豊かで、温泉が近い場所に、木を多く取り入れた風通しの良い治療院を開いてみたい。豪華客船のなかで鍼やエステをしながら、世界一周をするのも、私のプチ夢です!

柔道整復科Ⅱ部2年

田神 由美 さん

A1 両親が施術所を開いていたこともあり身近な存在でした。自分が腰を痛めた時に、柔道整復師の治療を受けて「治った」経験が、この世界に入ろうと思ったきっかけです。10年間仕事を手伝ってきましたが、今後、どの様な治療院で働くとしても、国家資格は絶対必要だ!と考え、専門学校に入学することにしました。

A2 最近は、職場で介護のことが良く話題に上ります。将来は介護分野にも関わっていただける柔道整復師を目指したいと思っています。また、「ちょっとした体調不良」がとても多い現代。子供から高齢者まで幅広く、多くの人たちの健康をサポートしていきたいです。

A2 幸い、クラスの中で様々な経験や技術をもった仲間ができました。その仲間達と一緒に、治療家として生きていくための勉強に励んでいます。お互いに勉強会を開いたり、外部のセミナーに参加したり、貪欲に技術を身につけたい。国家資格の取得は、私にとってあくまで通過点であり、患者さんの笑顔を見るために、一生勉強を続けていきます。

平成23年度「くれたけ会後期講演会」を開催しました

くれたけ会後期講演会が12月11日(日)に行われました。



「慢性炎症、疼痛の管理と免疫調節」と題し、講師には小松靖弘先生(医学博士・獣医師)をお迎えしました。小松先生は免疫、アレルギー、漢方薬理の専門家でもあり、「疼痛緩和」「免疫賦活」「長寿」等について深く研究を重ねてこられました。そして、これらのテーマに対しては、「食品」という観点から大きな成果を収められています。講演では、

まず、鎮痛のメカニズムや炎症反応とは何か、また、炎症と免疫の密接な関係について、医学的見地から解説していただきました。そして、本題である「食品による鎮痛、免疫賦活、長寿」について貴重なお話をいただくことができました。慢性関節リウマチや変形性関節炎などの痛みに対しては、現代医学の投薬治療では即効性が期待できる反面、胃腸障害などの副作用を伴う場合があります。一方、漢方薬は天然に存在するありのままの成分を抽出して様々な有効成分を配合することにより、身体への負担を軽減しながら薬効を期待できることが経験的・臨床的に分かっています。小松先生は、こうした生薬の

持つ特性を最大限に生かして、疼痛に対して鎮痛効果のある副作用の少ない健康補助食品を生み出すことに成功されました。さらに、「免疫賦活」の話の中では、生体機能の活性化に効果を有する漢方薬「補劑」について触れました。この「補劑」は現代医薬品には無い考え方で、消化機能、免疫機能、性腺機能、肝機能、呼吸器機能等の改善に役立てることが出来ます。また、このような効果はアンチエイジングにつながるものとしても期待されています。補劑の例として「十全大補湯」では、手術後の体力回復、化学療法に伴う有害反応の抑制、感染症に対する効果があり、「人参養榮湯」では病後の体力回復、疲労倦怠・食欲不振等の改善に効果があることを臨床的に示していただきました。超高齢社会を迎えた今、「食育」や「健康食品」など健康にまつわる言葉が氾濫していますが、これをただのブームに終わらせるのではなく、健康に長生きするために、医薬品を含めた現代医療、予防医学として注目が集まる鍼灸や漢方薬と言った伝統医療、そして健康補助食品を上手に併用すること、そして日々の生活習慣や食生活に目を向ける姿勢が大切であると改めて感じました。今回



の講演を終えて、「医食同源」「薬食同源」「治未病」と言った東洋医学的な発想をより深める契機になったと思います。

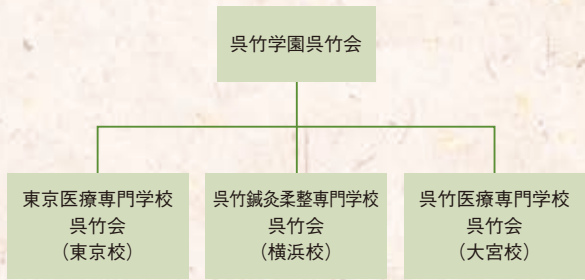
講演会の後は、新横浜グレイスホテルにて懇親会を開催しました。小松先生をはじめ、



たくさん卒業生に参加していただき、昔の思い出などを肴に親睦を深めていただきました。校友会では、毎年、講演会・懇親会を行っておりますので、卒業生の皆さまの参加をお待ちしております。

校友会改編のお知らせ

1954年(昭和29年)、東京高等鍼灸医学校の分校として、本校の全身である熱海校が発足すると同時に、くれたけ会が結成されました。その後、1962年(昭和37年)に呉竹後援会となり、1967年(昭和42年)に呉竹校友会、1980年(昭和55年)にあらためてくれたけ会へと改称し、現在に至りました。平成21年には、東京校(東京医療専門学校)、横浜校(呉竹鍼灸柔整専門学校)、大宮校(呉竹医療専門学校)の3校体制となり、今年、大宮校から初めて卒業生輩出を迎えるのを契機として、3校校友会の上位組織を「呉竹学園呉竹会」とし、統制することになりました。これにより平成24年度の総会をもって、本校校友会の名称は、「呉竹鍼灸柔整専門学校 呉竹会」となります。今後は、各校呉竹会の独自活動を重視しつつ、学園横断的な行事も開催していきます。



呉竹学園求人検索システムのご案内

本校ホームページから次のことができるようになりました。

- 1 求人票の検索、閲覧および面接応募
本校に寄せられる求人票を検索することができます。
- 2 求人票の申し込み(求人募集)
企業・治療院さま向けのページです。WEB上で求人募集ができます。
- 3 お知らせ配信(マイページ)
卒業後臨床講習会などのお知らせを見ることができます。

利用手順

- 1 本校ホームページの「呉竹学園求人検索システム」をクリック。
- 2 本登録フォームを開き、必要事項を入力。
※登録番号について
●平成22年度以前の卒業生は、別途郵送によりご案内します。
●平成23年度卒業生および現・在校生は、学籍番号が登録番号になります。
- 3 本登録が完了したら、ID(メールアドレス)とパスワードでマイページにログイン。
- 4 求人検索の画面から、条件を設定して求人情報を検索。
- 5 希望の求人が見つかったら、「応募する」をクリック。
(※メール未対応の場合は直接電話)
- 6 企業・治療院からの連絡を待ちます。



[ログイン画面] 最初に「本登録」を行ってください。

【問い合わせ先】呉竹鍼灸柔整専門学校 求人係
電話: 045(471)3731

横浜F・マリノスのスポンサーになりました

ホームスタジアムがある地元新横浜の地で、日本を代表するビッグクラブをサポートできることは大変光栄なことです。近年、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧・柔道整復などの伝統医療は、選手のケアやコンディショニング、怪我の予防など、スポーツの分野でも応用活用されるようになりました。本校としても、医療を通じて地域社会に貢献しながら、多くのファンと共にホームタウンを盛り上げたいと思います。マリノスの社長から以下のメッセージが寄せられました。

《横浜マリノス株式会社 嘉悦代表取締役社長 のコメント》

この度、呉竹鍼灸柔整専門学校様とスポンサー契約を締結することができ、誠に有難く、かつ光栄に思います。チームの安定したパフォーマンスを維持する第一条件は、選手のシーズンを通したコンディションの維持ですが、それは日常生活の基本条件でもあります。この領域でのノウハウを蓄積され、将来にわたってその伝承と普及に尽力される同校は、ホームタウンの皆さまの健全な生活を応援する弊クラブの理念と完全に合致し、この上ないパートナーであると考えます。ぜひ、市民の皆さまのお役に立つ共同企画を検討、実現して参りたいと思っております。

横浜F・マリノスHP <http://www.f-marinos.com/>

お知らせ

Information

Kuretake Shingi お知らせ2012 / vol.2

●『呉竹メルマガ』のご案内

各種講習会、講演会などの情報を配信しています！
右記 QR コードからメールマガジンの登録をお願いします。



※事前に迷惑メールフィルタなどの設定変更を行うか、次のドメインを受信許可リストに加えてください。

「呉竹メルマガ」ドメイン → kuretake-y.jp

※登録フォームアドレス：<https://www.c-form.net/kuretakes542987/mail/>

※登録後、数分経過しても「登録完了メール」が届かない場合は、迷惑メールフィルタなどにより受信を拒否されている可能性がありますので、再度設定を確認してください。

●第20回国家試験合格速報(平成24年3月実施・新卒者)

| 資格名 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 |
|-------------|------|------|--------|
| あん摩マッサージ指圧師 | 67名 | 67名 | 100.0% |
| はり師 | 94名 | 84名 | 93.3% |
| きゅう師 | 90名 | 82名 | 91.1% |
| 柔道整復師 | 84名 | 83名 | 98.8% |

●学校説明会日程(予定)

- 第1回・・・平成24年6月27日(日)
- 第2回・・・平成24年7月22日(日)
- 第3回・・・平成24年8月19日(日)
- 第4回・・・平成24年9月23日(日)

上記以外にも、平日毎日「学校見学会」を開催しています。

●入試日程 ※詳細は募集要項をご覧ください。

| 試験区分 | 試験日 | 募集学科 | 試験科目 |
|----------|----------------|--------------------------|---------|
| AO入試 1次 | 2012年 7月 8日(日) | 鍼灸科 柔道整復科 | 適性検査・面接 |
| AO入試 2次 | 2012年 8月 5日(日) | | |
| AO入試 3次 | 2012年 9月16日(日) | | |
| 社会人入試 1次 | 2012年 9月 9日(日) | 鍼灸マッサージ科 鍼灸科 柔道整復科 | 小論文・面接 |
| 社会人入試 2次 | 2012年10月 7日(日) | | |
| 推薦入試 | 2012年10月 7日(日) | | |
| 一般入試 | 2012年11月11日(日) | | |

編集後記

昨年は、東日本大震災の最中に制作した「呉竹心技」。1年経った今なお続く余震、原発問題、復興への足かせとなっているがれき処理の問題、被災された方々の住居や職場復帰、診療制限など生活に直結する課題が山積されており、行政のみならず官民産学一体となった対応が急がれています。一方で、国内外を問わずNPOを中心とした様々な人道的支援活動が展開され、被災者、被災地へ心を寄せる人と人とのつながり、“絆”が、復興への希望の光となっています。全国の鍼灸師・柔整師もまた被災地に向け、被災された方々の心と体のケアを通じて、当地での保健衛生の向上に貢献していると聞きます。伝統医療を生かしたそうした草の根的な活動もまた、復興支援のひとつの形ではないでしょうか。

“原点回帰”や“価値観の変容”、“防災対策”などの言葉に表されるように、今回の震災を受けて国民の意識が随分と変わりました。学校としても、節電、震災に備えた避難訓練、災害時備蓄品の整備など対策を進めて参りました。この教訓をいかに生かすか、今問われています。

「呉竹心技」もまた、様々な視点から生きた情報を提供し、皆さまに親しまれる読み物にしていきたいと考えています。今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

【呉竹心技編集部】 TEL：045-471-3731 E-mail：kuretake-info-yoko@kuretake.ac.jp

学校法人呉竹学園

呉竹鍼灸柔整専門学校

TEL:045-471-3731

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-7-24

学校情報や学校見学の内容など、詳細はHPをご覧ください。

<http://www.kuretake.ac.jp/>

呉竹学園

検索

携帯サイトはこちら→

<http://www.kuretake-y.jp>

